



広報しずくいし

2019年
3月号

Contents

第16回栗石町民劇場..... 2

第52回いわて雪まつり..... 4

松くい虫被害の拡大防止に向けて..... 6

町税や各種料金などは期限内に納めましょう... 8

**町の安全・安心にあなたの力を
消防団活動に参加しませんか (9ページ)**

栗石の夜が幻想的な灯りに包まれる

2月14日、「第3回しずくいし雪灯り」と「しずくいしはしご酒」が同時開催されました。今年のしずくいし雪灯りは、よしゃれ通り商店街を会場に行われ、たくさんの灯りが栗石の夜を彩りました。(関連記事 15 ページ)



—子育て応援宣言!—

子育てが**楽**しくなるまち、栗石

オラホの町の新婚さん



2日間の公演を終え、ホッとした表情で記念撮影する出演者、スタッフの皆さん



町民による手づくりの演劇、第16回雫石町民劇場「オラホの町の新婚さん」(同実行委員会主催)が、2月10日と11日の2日間、中央公民館野菊ホールで上演されました。今回の町民劇場も、昨年引き続き公募脚本による現代劇。出演者、スタッフなど総勢50人にも及ぶ関係者が一丸となり、昨年10月から約4カ月間にわたり、一生懸命稽古や準備を積み重ね、本番に臨みました。

2日間の公演には、約600人が来場。笑いあり、涙ありの感動の物語と出演者の迫真の演技に、会場に詰めかけた観客からは、惜しみのない拍手が送られました。

あらすじ

- ①：雫石のとある公民館で会議が開かれている。議題は「オラホの新婚さん」という企画のテレビ取材を、引き受けるか否か。新婚さんはこの地区におらず、会議は難航していた。
- ②：そこに、東京で暮らしていたはずの伊奈のぞみが帰ってきた。
- ③：のぞみと倉木たかしは幼なじみ。中学・高校と皆に知れわたるカップルだったが、高校卒業と同時に、のぞみはたかしを振って東京に出て行った。たかしは傷つき、独身を通して「今ものぞみのことが好きだ」と告げる。しかし、のぞみは「たかしから名前をバカにされたトラウマ」が原因で告白を断ってしまう。
- ④：テレビディレクターとカメラマンが「企画は成立するか」と町の青年部長に詰め寄る。
- ⑤：さつきと健二は意識しながらも犬猿の仲。伊奈家の漬物をもらいに来た二人は、庭先でのしり合っていた。それを見た子どもたちが「割れナベに閉じブタ」と悪たれている。
- ⑥：のぞみの家は専業農家だが、祖母に続いて後継ぎの兄も亡くなってしまい、一家は落胆。
- ⑦：のぞみは立ち上がり「私が帰ってきたのは、亡くなった兄と祖母のお導きなんだ」と、家業を継ぐことを決意する。
- ⑧：伊奈家の爺ちゃんがいつものように散歩に出かけたが、今日は帰りが遅い。一同大さわぎで搜索。子どもたちも搜索に加わるが、先生は心配そうだ。
- ⑨：爺ちゃんを探していたのぞみとたかしは、神社でばったり再会。話すうちにわだかまりを解消する。のぞみは「たかしが婿入りするなら告白を受け入れる」と思いもよらぬ条件を突きつけた。たかしは悩んだうえで条件を受け入れる。
- ⑩：爺ちゃんが茂みから登場。昼寝をしていたら二人の会話が聞こえて目が覚めたそう。
- ⑪：この搜索を機に、さつきと健二も急激にカップルに。
- ⑫：一同集合。爺ちゃんの無事と二組のカップル誕生を喜ぶ。
- ⑬：天国の婆さんに「ありがとう。またくるからな」と誓う爺ちゃん。
- ⑭：一連の話を聞いていたディレクターとカメラマンが茂みから登場。「この町は風景だけでなく人情もバツグン。いい番組になる」と確信して終演。

出演者・来場者にインタビュー



伊奈のぞみ 役
吉田 麻里子 さん

自分自身を「伊奈のぞみ」と重ね合わせることに苦労しました。本番は緊張することなく舞台上に集中できましたが、終わった後にどっと疲れがきました(笑) 皆さん見に来てくれてありがとうございます!

主人公を務め、プレッシャーも大きかったですが、出演者一人一人の雰囲気もよく、皆が心をつにして本番に臨むことができました。町民劇場で得た経験をこれからの人生に生かしていきたいと思えます。



倉木たかし 役
山崎 忍 さん

初出演です。最初は戸惑いもありましたが、周りのスタッフ全員のわきあいあいとした雰囲気や場を和ませてくれる人がたくさんいたので、とても楽しく、濃い時間を過ごすことができました。ありがとうございました。



さつき 役
藤澤 里緒 さん

こちらが考えていた泣きどころで観客が涙を拭いている姿を見て一安心。ピッタリの配役で演じてもらえました。これからも、たくさんの方に町民劇場を見ていただき、舞台に込められたメッセージを感じてほしいです。



脚色・演出
小原 千里 さん



在京栗石町友会
新里 孝二 会長 (右から2人目)

とても感激しました。全員が心をつにして作り上げてきた作品なんだと感じました。また、皆さんが“心から栗石町が好きだ”という気持ちも伝わりました。出演されていた子どもたちも、本当にいい経験、思い出になったのではと思います。



あそぶ、めぐる、感じる、雪のわくわく

第52回 いわて雪まつり



雫石スキー場「Ninja 体験」



盛岡手づくり村「岩手のお酒の試飲販売」



ようこそ！
雪あそびの里へ

たくさんの笑顔が咲いた会場
の様をお届けします！

第52回いわて雪まつり（同実行委員会主催）が2月2日から11日までの10日間、「あそぶ、めぐる、感じる、雪のわくわく」をテーマとして、岩手高原スノーパークをメイン会場に、網張温泉スキー場、雫石スキー場、小岩井農場まきば園の町内4会場の他、盛岡市の盛岡手づくり村、滝沢市のたきざわ自然情報センター、ビッグルーフ滝沢を加えた7会場で同時開催されました。

期間中は恒例のスノートレインやそり遊びゾーン、多彩なステージイベントなどが会場を盛り上げ、8日には花火が打ち上げられました。屋台村も連日大盛況





たきざわ自然情報センター
「スノーシュー体験」



ステージパフォーマンス
町出身の「かきまなみ」さん



小岩井農場「かまくらジンギスカン」



で、栗石スノーパークレーをはじめとした栗石町特産メニユーや甘酒、ひつまみ汁など温まるメニユーがそろいました。

10日間の総来場者数は約14万1000人。県内外、国外からも家族連れなどが各会場に足を運び、子どもも大人も雪とのふれあいを思う存分楽しみました。

松くい虫被害の 拡大防止に向けて

町内の松くい虫被害を防止する対策が進められています。本号では、平成28年度から行われている七ツ森町有林内での取り組みをお知らせします。

生森山のアカマツ伐倒作業

松くい虫被害とは？

アカマツの内部にマツノザイセンチュウが入ることにより、徐々に枯れていく病気で、マツノザイセンチュウは、マツノマダラカミキリに寄生し、マツノマダラカミキリがアカマツの内部に入ることとで、アカマツに感染していきます。

松くい虫被害の拡大は、夏の高温によるカミキリの行動の活発化や交通網の整備などが考えられます。多くの被害地では幹線道路付近での被害木が確認されており、そこから周辺地域への被害が拡大しています。

松くい虫被害は全国的な問題

松くい虫被害は、国内最大の森林病虫害であり、北海道を除く46都府県で被害が発生しています。

また、県内では県南から被害が広がっており、雫石町に隣接する盛岡市や滝沢市などが松くい虫被害地域に指定されています。

雫石町内の被害は？

町内の松くい虫被害は平成25年に初めて確認されており、七ツ森でも平成28年に被害が確認されているため、対策を進めています。

病原体「マツノザイセンチュウ」

長さ1ミリ足らずの小さな線虫がアカマツの中に侵入して、アカマツは水を吸い上げられなくなるなどにより、枯れてしまいます。



媒介昆虫「マツノマダラカミキリ」

体長3センチほどのカミキリムシの一種で、健康なアカマツの内部にマツノザイセンチュウを運びます。





七ツ森の木を なぜ切っているの？

松くい虫被害防止のためにアカマツを伐倒しています。国道46号沿いにある七ツ森周辺はアカマツが多く、被害拡大が懸念される場所となっていることから、今回、七ツ森町有林の道路に接している一部の伐倒を行い、被害のまん延予防を行っています。

平成28年から実施された伐倒は、現在行っている生森山おもしろやまの中腹部までの伐倒で終了します。その後、被害木があればその都度伐倒・くん蒸（カミキリの幼虫などを駆除する作業）を行っていきます。



切った木は どうなるの？

搬出されたアカマツの一部は製材として使われるほか、主にチップ材として売却されています。

切った後の山は どうなるの？

アカマツを切った後は、七ツ森内に自生している広葉樹の中から、ヤマモミジ、イタヤカエデ、ヤマザクラの3種類を選び、植林しています。

松くい虫被害を防ぐため、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

【問い合わせ先】町役場農林課林業担当（☎692・6495）



※参考写真・イラスト▶林野庁、森林総合研究所ホームページより

委嘱 県警と町地域包括支援センターが連携 「安全安心協力センター」として委嘱

1月25日、町地域包括支援センター（町役場総合福祉課内）が、盛岡西警察署（工藤実署長）から「安全安心協力センター」として委嘱されました。

これにより、警察と町が連携しながら高齢者世帯に対し「声かけ活動」を行い、交通事故や特殊詐欺などの犯罪被害にあわないよう、見守りを強化していきます。



委嘱状を受け取る猿子町長(左)

税金 固定資産税課税台帳 4月・5月は無料で見られます

平成31年度固定資産税の課税の前に、登録内容や評価額確認のため、町役場税務課で課税台帳を無料で見ることが出来ます。無料期間は4月1日から5月31日まで（平日8時30分から17時15分）です。※課税台帳はいつでも見ることが出来ますが、この期間以外は有料となります。

〈見ることでできる資料〉
①土地や家屋の所有者として課税されている人▽自己の固定資産課税台帳のほか、自己所有財産周辺

の価格等縦覧帳簿
②土地や家屋を借りている人（賃貸借契約書の持参が必要）▽借りている不動産の固定資産課税台帳
〈見るためには〉

①本人の印鑑と本人確認のため、住基カード、マイナンバーカード、運転免許証、健康保険証、パスポートなどをご持参ください。
②代理人の場合は委任状が必要です。

【問い合わせ先】町役場税務課 資産課税担当（☎692・6481）

税金 町税や各種料金などは 期限内に納めましょう

町民サービスの提供に必要な財源は、税のほかに、施設の利用者や個別のサービスの受益者などが負担する使用料や負担金などがあります。例えば、保育所の保育料や町営住宅の家賃、奨学金の返済金、上下水道料金、介護保険料や診療所の診察料などです。これらは、そのサービスの利用者や受益者が費用を負担することで成り立っています。

滞納があると、サービスの提供が困難になるばかりでなく、きちんと納付した人のお金で不足分を補うことになるなど、大きな問題となります。町は滞納に対して、督促状の送付や電話連絡・訪問催告などのほか、保証人の設定や納付誓約書の提出を求めると、解消に努めています。

●零石町債権管理条例を制定

平成30年4月1日に、町税をはじめとする町のすべての債権について統一的な処理基準を定め、債権管理のさらなる適正化を図り、公正で円滑な行財政運営を行うことを目的とし、零石町債権管理条例

例を制定しました。これにより、町税以外の債権についても、納期限までに納付されなかった場合、遅延損害金が課されることとなりますので、ご注意ください。

●納付が困難な場合は

お早めにご相談を！
納期限を一定期間以上経過すると督促手数料や延滞金（遅延損害金）が発生し、納付額がさらに増加し、負担が増えることとなります。督促状や催告書を受け取りながらも、納付や来庁、電話などによる納税相談も無く、未納の状態が継続した場合、滞納処分（差押など）の対象になります。納付に関する相談は、それぞれのサービス担当で行っていますので、納付が困難な場合はお早めにご相談ください。



【問い合わせ先】町役場税務課債権管理対策室（☎601-5427）

生活 繁忙期の各種手続き・個人番号カード交付 役場窓口を臨時開庁します

住民異動などの手続きに便宜を図るため、次の日程で町役場の窓口を臨時開庁します。

【実施日】 3月21日（木・祝）、3月31日（日）

【実施時間】 8時30分～17時15分

※個人番号カード（マイナンバーカード）の交付は9時～16時

【対応窓口・対応業務】

●町民課▽戸籍届・証明、住民異動届・証明、印鑑登録・証明（住基ネット関係事務は除く）、個人番号カード交付、国民健康保険に係る資格取得・喪失などの手続き、国民年金資格取得・喪失関係届出書の受理、後期高齢者医療に係る資格取得・喪失などの手続き、医療費助成申請手続きなど

《個人番号カード交付について》
個人番号カードの交付申請をして町役場にカードが届いた人には交付場所などをお知らせする交付通知書（ハガキ）を申請者のご自宅に送付しています。交付通知書に記載されている必要書類を確認して、町民課へ申請者本人がお越しください。窓口で本人確認な

どを行い、暗証番号を設定したのち、カードの受け取りができます。
※代理人によるカードの受け取りはご本人が病気、身体の障害などやむを得ない理由により、交付場所にお越しになることが難しい場合に限られています。

●子ども子育て支援課▽児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当の転出・転入手続き

●税務課※3月31日（日）のみ▽所得（無所得）証明書、課税（非課税）証明書、所得課税証明書、所得課税扶養証明書、納税証明書（個人住民税・法人町民税・固定資産税・国民健康保険税・軽自動車税）など

【問い合わせ先】町役場町民課（☎ 692・6470）



マイナちゃん

町民課では、月曜日と木曜日に窓口延長（17時15分～18時30分）を実施していますのでご利用ください。

日頃から災害への備えを！ 「雫石町地域防災計画」を修正

雫石町地域防災計画は、住民などの生命、身体および財産を災害から守るため、町や県、消防などの防災関係機関が相互協力して、災害予防、災害応急対策および災害復旧・復興に関する事項を定め、減災に寄与することを目的にしています。

町は、同計画の修正を随時行っており、2月13日に雫石町防災会議を開催し、計画の修正を行いました。修正後の計画については、町ホームページに掲載していますのでご覧ください。

●災害から身を守るために
町民の皆さんには、災害から身を守る活動として、自主防災組織による防災訓練などに取り組んでいただいています。町は引き続き訓練計画への助言や防災講話など、自主防災組織の活動を支援していきます。また、大規模な災害が発生した際は「自分や家族の身は自分たちで守る＝自助」、 「地域の人が互いに助け合う＝共助」が重要です。平常時から危険区域の把握や避難の仕方を決めておき、食料・生活用品などの備蓄・非常持出品の準備をするなど、防災意識を高く持ち、災害への備えをお願いします。
【問い合わせ先】町役場防災課（☎ 692-6410）

募集 町の安全・安心にあなたの力を 消防団活動に参加しませんか

雫石町消防団は、新入団員を随時募集しています。現在、会社員、自営業者、公務員などさまざまな職種、幅広い年齢層の人たちが活躍しています。自分が育った町、自分が暮らす町、自分が働く町、そして子どもたちが育っている町。そんなかけがえのない大切な町を一緒に守りませんか。

消防団員の活動は、火災発生時の消火、地震や風水害といった大規模災害時の救助・救出、警戒巡

視、避難誘導、災害防衛などのほか、平常時には訓練、住宅への防火指導、特別警戒広報活動などを行います。

【問い合わせ先】町役場防災課（☎ 692・6410）



周知

御明神・西山地区小学校跡地および校舎の活用 地域説明会を開催しました

町は、平成30年3月で閉校となり、学校としての役割を終えた御明神地区の旧橋場小学校、西山地区の旧上長山小学校と旧西根小学校をどのように活用していくかについて、昨年12月に基本的な方針と方向性をまとめました（本紙平成31年1月号掲載）。

このことについて、左記の通り地域説明会を開催し、旧小学校3校をどのように活用していくのか、詳しい内容や今後の進め方、また方向性の決定に至る経過などを地域の皆さんに直接説明し、広くご意見を伺いました。

●各旧小学校利活用の方向性と、地域説明会での主な懇談の内容

	旧橋場小学校 (2月5日)	旧上長山小学校 (2月7日)	旧西根小学校 (2月12日)
方向性	コミュニティの活性化を目指す「小さな拠点」としての施設	貸しオフィスを主体とし、企業・団体の誘致などにより産業振興と地域経済活性化に資する施設	埋蔵文化財などの文化財保管を主体とし、行政需要に対応する施設
地域住民の関わり	地域住民が主体的に運営に関わる	地域住民の利用に配慮する	地域住民の利用に配慮する
主な懇談の内容 (参加者からの意見)	<ul style="list-style-type: none"> 「小さな拠点」としての利活用を進めている旧大村小学校について▶事業の内容や回数を知りたい(担当から現状について回答) 旧小学校区のみとまりについて▶旧小学校で夏まつりなど一体的にできる地域イベントも考えよう 今後について▶行政区単位でも住民が集まる場での説明が必要。話が具体的になっていけば関わってくれる人も増えるはず 	<ul style="list-style-type: none"> 貸しオフィスの種類について▶企業だけでなく工房なども入れれば地域との交流につながるのでは 「実のなる森」(創立120周年記念事業で植樹などした植物)の環境整備について▶閉校前はPTAがやっていたが、今後は町での検討も望みたい 今後について▶行政区単位での説明が必要か確認するが、集まってもらうにはテーマ設定の工夫も必要 	<ul style="list-style-type: none"> 地域利用の内容について▶一般の人にも興味を持ってもらえるような内容をスポーツ用具の貸し出しや趣味に関する教室など学びの場としてはどうか 文化財の保管について▶保管だけでなく展示もできるような活用がいい 【担当からの補足】▶保育所の移転について▶施設状況と町全体の子育て施策との関連や状況を見ながら、検討は継続していく

説明会の結果と

今後について

説明会を開催した3校とも参加者は少数でしたが、おおむね内容についてのご理解と、方向性についての納得をいただきました。

説明会の中でも提案を行いました。が、今後は「地域が関わる利活用」の部分で、地域の皆さんが主体となった話し合いの場がとても重要になっていきます。

町は、地域住民の話し合いの場にも積極的に関わりながら、具体的な利活用に向けた環境の整備を進めていきます。

【問い合わせ先】町役場地域づくり推進課 (☎601・5419)



旧橋場小で行われた地域説明会の様子

地域おこし協力隊 活動日記

地域活性化の事例発表！

【担当】町役場地域づくり推進課
(☎ 601-5418)

1月30日、盛岡市のマリオスで「地域活性化セミナー(岩手県、いわて定住・交流促進連絡協議会主催)」が行われ、町地域おこし協力隊の増谷光記さんと古山裕二さんが参加し、町内における地域づくり活動についてプレゼンテーションを行いました。

古山さんは地域資源の活用をテーマに、東北紙器株式会社との協働で実施した「段ボール椅子の集落公民館への寄贈」の事例を紹介しました。

また、増谷さんは地域コミュニティの活性化をテーマに、元祖しずくいし軽トラ市での軽トラプランター作りやヒマワリの種植えを地域住民とともに行った「商店街お花プロジェクト」や、鶯宿温泉のマスコットキャラクター・ケキョきちの「編みぐるみ担い手養成講座」の実施などについて発表を行いました。

この日のセミナーには、県内各地の地域おこし協力隊や復興支援員など約140人が参加しました。今後、協力隊同士の連携による活動の成果が期待されます。



それぞれのテーマで発表する古山さん(上)と増谷さん(下) ※写真提供▶岩手県政策推進室

新七ツ森墓地公園の概要

- 【所在地】 栗石町七ツ森 8 番地 2
- 【墓地区画数】 4㎡ : 306 区画、6㎡ : 88 区画
- 【水汲み場】 1 カ所
- 【トイレ兼休憩所】 1 カ所 (男子・女子・多目的各 1 室)
- 【駐車場】 普通車用 73 台、ひとにやさしい駐車場 2 台

〈墓地の区画面積別使用料・管理料〉

区画面積	使用料(初年度のみ)	管理料(毎年度)
4㎡	180,000 円	2,440 円
6㎡	270,000 円	3,660 円

※申し込み資格②の人は使用料が 1.5 倍となります。

募集 新七ツ森墓地公園 使用申し込み随時受け付け中

- 新七ツ森墓地公園は、豊かな自然に囲まれ、静寂と安らぎに包まれた、明るく美しい墓地公園です。
- 町は、新七ツ森墓地公園の使用申し込みを次のとおり随時受け付けています。
- 申し込み資格
- ① 現在町内に住所か本籍がある人
- ② 以前町内に本籍があった人
- 必要なもの
- ① 墓地使用許可申請書(環境対策課窓口にて備え付けています)

- ② 印鑑(認め印可)
- ③ 世帯全員の住民票
- ※申し込み資格②の人は、戸籍全部事項証明(戸籍謄本)
- ④ 使用料・管理料(上表参照)
- ※申込時に全額納入していただきます。一度納めた使用料・管理料はお返しできませんのでご了承ください。
- その他
- 墓地公園の美観を保つため、設置する墓碑の形や寸法を統一しています。

**墓地の衛生管理のため
墓前の供物は持ち帰りましょう**

彼岸のお墓参りの時期が近づいてきました。墓前の供物を持ち帰らずに放置すると、腐敗したり鳥獣が食い散らかしたり、お墓の周囲が不衛生になります。

墓地の衛生管理のため、お墓参りの後は供物を必ず持ち帰りましょう。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

【問い合わせ先】町役場環境対策課
(☎ 692・6403)

地域包括支援センターだより けんこう ~ 健幸長寿への道 ~

地域包括支援センターは、高齢者の皆さんの生活を総合的に支援しています。お気軽にご相談ください。

問い合わせ先▶ 町役場総合福祉課 雫石町地域包括支援センター (☎ 691-1105)

地域で“通いの場”が広がっています！

通いの場とは？

“通いの場”とは、週に1回行政区の公民館などに集まり、シルバーリハビリ体操をしたり、お茶を飲んだりする場所のことです。

5人以上の参加者と集まる場所があれば、体操

指導者の派遣や血圧計の貸与など立ち上げのお手伝いをします。



シルバーリハビリ体操体験会を開催

昨年11月には、町内6つの行政区で体験会を開催しました。

要支援の認定を受ける人が増えていることなどを紹介し、自分や家族が豊かな人生を送るためにも、介護保険料の上昇を抑えるためにも、“通いの場”などで運動や外出をすることが大切だという講話のあと、実際にシルバーリハビリ体操を体験しました。

体操を体験した参加者の皆さんからは、

- 普段動かさない部分も動かすことができるからいい。(70歳代女性)
- “通いの場”はとても大切なものだとなん得できた。体操を続けたい。(70歳代男性)
- いい体操だった。身体が少し楽になった。(80歳代女性)

などの感想をいただきました。

体験会に参加した皆さんを中心に“通いの場”がどんどん広がっています。



下町四公民館での体験会の様子



林崎公民館での体験会の様子

＼ 通いの場の状況 /

現在、町内13カ所に“通いの場”があります。開催の方法はさまざま、元々ある集まり（ふれあいサロンや老人クラブなど）に追加したり、冬期間だけ行うなど、地域や参加者の状況に応じて活動しています。

興味のある人は、●印の地区公民館にぜひお越しください。その他の会場でも、随時参加できますので、町地域包括支援センターまでお問い合わせください。

- 雫石公民館（毎週金曜日）
- 御所公民館（毎週月曜日）
- 御明神公民館（毎週火曜日）

13時30分
～14時30分
申込不要です！

その他の会場
板橋公民館、七ツ森公民館、小松公民館、岩持公民館、高前田二区集会所、大村伝承館、晴山公民館、林崎公民館、下町四公民館、野中公民館

子育て情報
通信 vol.10

彩る個性が光輝く雪灯り

【担当】町役場子ども子育て
支援課 (☎ 601-5428)

皆さん、こんにちは！子育てコンシェルジュの猪又優香です。今回は、2月14日に開催された「第3回しずくしいし雪灯り」に多くの子どもたちが携わってくれたことをご紹介します。

雫石町地域子育て支援センターや、つどいの広場利用者さん・保育所・子ども会のお友達が絵を描

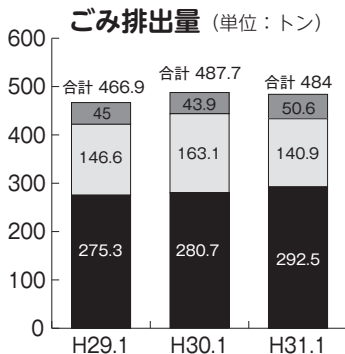
いて、雪灯りに参加してくれました。そして、会場作りやお手伝いを雫石中学校野球部員が担ってくれました。子どもたちが彩ったよしゃれ通りはいつも以上に輝いていました。今後も、子どもたちの活躍を地域で見守っていただけたいと思いますので、ご協力をよろしくお願い致します！

たくさんのおともたちが雪灯りを盛り上げてくれました！



ごみの減量、リサイクルを

【担当】町役場環境対策課
☎ 692-6403



平成31年1月に排出されたごみの量は484トン、そのうち家庭から排出されたごみは292.5トンでした。引き続きごみの減量化・資源化にご協力をお願いします。



◆不法投棄は犯罪です！

町は、不法投棄の抑止と投棄された廃棄物の早期発見のため、監視員による巡回パトロールを実施しています。

本年度収集した不法投棄物の重量は、1,050kgで、この処分には税金が充てられています。皆さんの監視の目で、不法投棄行為を追放しましょう！

◆「その他紙」の収集日数の変更

これまで土曜日に収集していた「その他紙」の収集日が、4月から月に1回（月によっては2回）に変わりますのでご注意ください。

◆使用済み食用油は有効な資源で、燃料として再利用されています。

【使用済み食用油拠点回収実績】

	平成29年1月	平成30年1月	平成31年1月
回収量 (ℓ)	163	180	190

※回収場所は町役場など町内15カ所です。
町HPをご覧ください。

愛犬保護のため必ず接種を

集合注射を実施します

今年も狂犬病予防集合注射を行います。場所や時間などの詳細は、本紙4月号でお知らせします。

●日程・地区

- 5月7日(火) ▶ 御所地区
- 5月8日(水) ▶ 雫石地区
- 5月9日(木) ▶ 西山地区
- 5月10日(金) ▶ 御明神地区
- 5月11日(土) ▶ 西山公民館 (6時30分～7時)、御明神公民館 (6時30分～7時)
- 5月12日(日) ▶ 御所公民館 (6時30分～7時)、町役場 (6時30分～7時30分)

●手数料

- ①注射のみ ▶ 3,100円/1頭
 - ②注射と登録 ▶ 6,100円/1頭
- ※当日に徴収します。

【問い合わせ先】町役場環境対策課 (☎ 692-6403)

2月28日

大盛況で閉幕！ 雫石まるごとグルメスタンプラリーフェア

1月26日から2月28日まで行われた「雫石まるごとグルメスタンプラリーフェア」が大盛況のうちに閉幕しました。

今回のフェアには、雫石町内産の農産物を使用したメニューを積極的に提供している飲食店として町から認定を受けた「雫石町農産物提供店」23店舗が参加。雫石スープカレーをはじめとした各店舗自慢のオリジナルメニューを提供しました。また、「雫石産の美味しいものセット」が当たるスタンプラリーも同時に行われ、たくさんの応募をいただき終了しました（厳正な抽選の上、3月末までに当選者に発送。当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます）。



▲▶いわて雪まつりの期間限定で提供されたさくら亭の雫石スープカレー



たくさんのご応募ありがとうございました！

TOWN TOPICS

タウントピックス

まちの話題・ 出来事紹介

●あなたの身近で起きた出来事や楽しい話題、イベントなどの情報をお知らせください。

【町役場政策推進課広報担当】

〒020-0595（住所不要）

電話番号：直通 692-6570

FAX 番号：692-1311

Eメール：kouhou@town.shizukuishi.

iwate.jp

2月11日

第5回しずくいし DE フェルトくみあい展を開催

2月2日～11日、県内外で活動するフェルト作家の作品を展示・販売する「第5回しずくいし DE フェルトくみあい展」が町観光物産センター（雫石銀河ステーション1階）で開催されました。今年は9つの工房が出店し、アクセサリや人形など、温かみのあるフェルト作品が会場に並びました。



フェルトの温かみがある作品が並びました

2月4日

夢・ゆとり・豊かな農業を目指し 1組が家族経営協定を締結



協定を結んだ坂下さん家族（中央）

2月4日、町内では64組目となる家族経営協定の調印式が町役場で行われました。

今回は、坂下榮一さん・千枝子さん家族（中沼）が、猿子町長、町農業委員会岡森会長らの立ち会いのもと協定を締結。坂下榮一さんが「協定の内容をよく理解し、建設的で明るい農業にしていきたい」と力強く宣誓し、農業経営に対する意欲を新たにしました。

家族経営協定は、家族全員が意欲とやりがいを持って農業経営に参画できるよう、経営目標や役割分担、就業条件などについて話し合い、その内容を協定書として書面化するものです。

2月21日

いきいきとした働き方を！ 雫石町イクボス共同宣言を実施

▶星型をしたイクボス宣言記念盾を手に共同宣言した企業の皆さん



2月21日、町役場で「雫石町イクボス共同宣言」を行いました。本年度イクボス宣言をしたのは、盛岡セイコー工業(株)、(株)徳風雫石営業所、(有)山本工業、(株)プリンスホテルの4者。NPO法人ファザーリング・ジャパン東北 岩手代表理事の後藤大平さん立ち会いのもと、昨年度宣言した6者と共に共同宣言を行い、猿子町長から記念盾が授与されました。

後藤さんは「働き方にも多様化の流れがある。それぞれ工夫をこらし、未来を残せる職場づくりを目指してほしい」と伝え、猿子町長は「仕事の環境を整え、家庭環境などにも配慮しながら頑張してほしい」と激励しました。

2月16日

南岩手山岳遭難対策委員会が「冬季遭難対策合同訓練」を実施

2月16日、南岩手山岳遭難対策委員会（会長：谷藤裕明盛岡市長）による、冬山での遭難者の捜索・救助のための訓練が網張温泉スキー場および周辺地域で実施されました。この訓練には、雫石・盛岡・滝沢の各救助隊のほか、警察・消防・自衛隊も参加。「捜索」、「救助・搬送」、「通信・ヘリ誘導」の方法を確認する基本訓練の後、雪崩により遭難者が発生した想定で、実際に捜索・救助活動を行う総合訓練が行われました。参加した隊員は「今後も訓練を重ね、迅速な遭難者の救助に努めたい」と感想を述べました。



▲▶冬山での遭難者の捜索と救助訓練の様子



2月14日

雫石の夜が幻想的な灯りと賑やかな笑いに包まれる 「第3回しずくいし雪灯り」、「しずくいしはしご酒」同時開催

2月14日、雫石地区地域づくり会議とよしゃれ通り周辺JV.の主催による「第3回しずくいし雪灯り」と「しずくいしはしご酒」が同時開催されました。

今年のしずくいし雪灯りは、よしゃれ通り商店街を会場に行われました。当初は積雪が少なく開催が心配されましたが、町内の子どもたちが絵を描いた経木を使うなど工夫を凝らし、当日はたくさんの灯りが雫石の夜を彩りました。

初開催のしずくいしはしご酒は、約200人が参加。4軒回れるチケットを手にした参加者たちが楽しそうによしゃれ通り商店街を歩き、雪灯りの写真撮影をするなど終始賑わいをみせていました。



経木からこぼれる灯りが辺りを幻想的に彩ります

▶しずくいし雪灯り



▲▶はしご酒は4軒全て回ると抽選会に参加可能。商品を手にと喜びの笑顔を見せる参加者。



第八弾 (最終回)



発見

～ 雫石の農業 ～

頼れる地域の

先輩・仲間



▲ 雫石地産食楽部の
QRコード

岩手県は、地域農業発展と農村地域活性化に意欲的に取り組んでいる農業者を「岩手県農業農村指導士」および「岩手県青年農業士」として認定しており、町内では14人が認定を受けています(平成31年2月末時点)。

岩手県農業農村指導士とは？

農業技術の向上と農村地域の活性化に努め、地域の農業者などに対して指導を行う役割を持つとともに、自らの農業経営および地域活動を通じて県内外の消費者に対し農業・農村に関する情報発信や農業経営、技術指導などの活動を行っています。新規就農希望者の研修受け入れや農業技術などの相談についても対応しています。

岩手県青年農業士とは？

青年農業者などの集団活動に積極的に参画し、青年農業者などに対する指導的役割を持つ40歳までの農業者で、自らの農業技術と経営の向上、農村地域の活性化に意欲的に取り組みながら、農業・農村の振興のための活動を行っています。

町が認定する

認定農業者

効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた農業経営改善計画を町が認定した農業経営者・農業法人のことです。

認定農業者で組織する「雫石町農業経営者協議会」では、全体研修会や地区別研修、自主研修助成などを行っています。

岩手県農業農村指導士 (敬称略・認定順)

- 猿子 恵久 (八区) ▶ 水稲、花き
- 高橋 清美 (戸沢) ▶ 水稲、繁殖和牛、野菜
- 菊池 淳 (中沼) ▶ 野菜
- 柿木 茂 (小松) ▶ 水稲、花き
- 町場 洋一 (和野) ▶ 水稲、酪農
- 松原 永樹 (五区) ▶ 酪農
- 晴山 保正 (晴山) ▶ 水稲、小麦
- 中屋敷美幸 (中沼) ▶ 水稲、繁殖和牛、野菜、なめこ
- 松ノ木菜々子 (上和野) ▶ 水稲、小麦、野菜
- 小谷地明弘 (谷地) ▶ 水稲、野菜

岩手県青年農業士 (敬称略・認定順)

- 藤枝 正道 (極楽野) ▶ 野菜
- 菅原 紋子 (中沼) ▶ 水稲、小麦、農産加工
- 横森 啓太 (小松) ▶ 和牛繁殖肥育一貫、水稲、菌茸
- 猿子 祐太 (長根) ▶ 水稲、花き

新規認定!

本年度当町からは2人、岩手県知事から認定されました。



「岩手県農業農村指導士」に小谷地明弘さん(写真左)、「岩手県青年農業士」に猿子祐太さんが新たに認定され、2月14日猿子町長に報告しました。

町の求人情報

①職種 ②基本給 ③求人番号 ④必要資格など
 注)㊦は正社員採用、㊦は普通車運転免許、
 ㊦は大型車運転免許、㊦はAT限定不可

◆社会福祉法人 のぞみ会(板橋) ㊦①調理員(希望ヶ丘学園) ②136,100円~180,000円 ③2961691 ④㊦、栄養士あればなお可(取得見込みも可) ◆同①生活支援員(希望ヶ丘学園) ②144,500円~180,000円 ③2963491 ④㊦ ◆同①児童支援員(こども発達支援センターのぞみ) ②144,500円~180,000円 ③2964791 ④㊦ ◆特定非営利活動法人 ヘルスプロモーションいわて(万田渡) ㊦①訪問看護 ②213,000円~302,000円 ③2313291 ④看護師、准看護師または保健師資格、㊦ ◆(株)航和(柿木) ㊦①看護師又は准看護師(ささこつ) ②176,400円~229,200円 ③2193791 ④看護師または准看護師、㊦ ◆(株)しずくいし(橋場) ①調理係 ②134,550円~138,000円 ③2196591 ④㊦ ◆同①飲食接客係 ②134,550円~138,000円 ③2197191 ④㊦ ◆(株)宮田醤油店(長山) ㊦①製造部員 ②156,000円~208,000円 ③1762791 ④㊦ ◆(株)下田工務店(西根) ㊦①ダンプ10t運転手 ②220,000円~220,000円 ③1507091 ④㊦ ◆小岩井農産(株)(丸谷地) ①鶏の飼養管理(ヒナ) ②143,000円~159,500円 ③1601291 ④㊦ ◆同①鶏の飼養管理(成鶏) ②143,000円~159,500円 ③1602591 ④㊦ ◆(有)アース(上曾根田) ①土木作業員 ②198,000円~250,000円 ③1079591 ④㊦、建設車両系などの資格があればなお可 ◆医療法人社団 銀河 栗石大森クリニック(千刈田) ㊦①正看護師・准看護師 ②210,000円~270,000円 ③602391 ④正看護師免許または准看護師免許 ◆(株)ホテル加賀助(鶯宿) ㊦①フロント ②210,000円~250,000円 ③772191 ④㊦、大型免許ある人優遇 ◆(株)中村建設(下曾根田) ㊦①土木技術者 ②200,000円~360,000円 ③30564181 ④土木施工管理技士1級または2級(1級ならなお可)、㊦ ◆同㊦①建築施工管理技士 ②200,000円~360,000円 ③30565081 ④建築施工管理技士1級または2級のいずれか、㊦ ◆社会福祉法人 康済会 障害者支援施設「うぐいすの郷」(西安庭) ①介護職員 ②147,000円~160,200円 ③30007981 ④147,000円~160,200円 ◆社会福祉法人 栗石町社会福祉協議会(千刈田) ①生活支援コーディネーター ②184,200円 ③30011181 ◆公益財団法人 いわてリハビリテーションセンター(七ツ森) ①臨時看護助手 ②124,800円~163,200円 ③29697481 ④ホームヘルパー2級以上 ◆同①看護師・准看護師(臨時) ②144,000円~257,600円 ③29698781 ④144,000

★ わが家のアイドル ★
 3月生まれ

発行月に3歳の誕生日を迎える子を紹介しています。掲載を希望する人は下記までお申し込みください。

沼田 理緒くん
 聖登・麻樹夫妻の子
 (上町二)



男の子3兄弟の中の3番目!! 何より食べるのが大好き♡お兄ちゃんたちに負けないうらいの食べっぷり(笑) これからもたくさん食べて元気にたくましく育ってね。

わが家自慢の子、孫の写真 ご応募お待ちしております

【応募要領】 子の写真(データ)、子の名(ふりがな)と生年月日、保護者(父母)氏名、住所(行政区)、電話番号、コメントを書き添え、誕生月の前月20日ごろまでに投稿してください。
 ※写真データはメールで送信するか、USBなどで持参してください。
 【応募先】 栗石町役場政策推進課広報担当
 Eメール: kouhou@town.shizukuishi.iwate.jp

円~257,600円 ◆(有)中村屋(中町) ㊦①洋菓子職人 ②135,000円~150,000円 ③29172581 ④㊦
 ※1月11日~2月1日までに盛岡公共職業安定所に申し込みのあった事業所の求人です。就業希望の人は同職業安定所紹介第一部門(☎624-8902)へ求人番号を(特に指定のない場合は掲載8桁の数字の前に03010も)告げてお問い合わせください。なお、すでに充足済みの場合もありますのでご了承ください。
 ※役場1階の求人情報掲示コーナーもご利用ください。
 【担当】 町役場観光商工課(☎692-6497)



町内工芸作家の作品が集結 春のしずくいし工房まつり

町観光物産センター（雫石銀河ステーション1階）で「第9回春のしずくいし工房まつり」が開催されています。

町内在住または町内に拠点を置く工房の作品を一堂に展示・販売するイベントです。今回は、23工房が出展予定のほか、期間中毎日、亀甲織の製作教室も予定しています。入場無料ですので、お気軽にお越しください。

【開催期間】3月17日(日)まで、10時～17時（最終日は16時まで）

【開催場所・問い合わせ先】町観光物産センター（☎692-5900）

魅力と元気いっぱい「チャレンジマルシェ」開催

雫石の魅力と元気が詰まった「チャレンジマルシェ」を今年も開催します。

地元の食材をいかした優しい味わいの手づくりクッキーや自家栽培のりんごジュース、ハンドメイド雑貨やアロマトリートメントによる癒しの空間など、創業支援講座の受講生らによるお店が集まります。

さらに、初企画「チャレンジキッズ」にも注目。子どもたちがアイデアを出し合い運営するお店です。入場無料ですので、お気軽にお越しください。

【日時】3月21日（木・祝）、10時～16時

【開催場所・問い合わせ先】雫石町まちおこしセンターしずく×CAN（☎692-6282）

町長交際費を 公開します

町は、行政運営の一層の透明性を図り、町民に開かれた信頼あるまちづくりを進めるため、町長交際費の支出状況を公開しています。また、町ホームページでも公開しています。

交際費の支出状況

1月		累計（4月～1月）
21件	119,000円	769,000円

税情報

あなたの軽自動車 廃車登録はお済みですか？

軽自動車を譲ったり、売却した場合や壊れて使っていない場合は、廃車登録の手続きが必要です。手続きがされないと、いつまでも軽自動車税が課税されてしまいます。

軽自動車税は、4月1日現在の所有者に課税されます。廃車の手続きが済んでいない場合は、平成31年4月1日までにお願います。

【届け出窓口】雫石ナンバーは町役場税務課（☎692-6483）、軽自動車は県軽自動車検査協会（☎050-3816-1833）、二輪自動車（126cc～250cc）は全国軽自動車協会連合会岩手事務所（☎639-8021）、二輪自動車（250cc超～）は岩手運輸支局（☎050-5540-2010）、手続きに行けない人は県自家用自動車協会（☎637-2016）

【担当】町役場税務課（☎692-6483）

（1月届け出分）

おめでた カッコ内は保護者名

1月

- 4 前田寛二郎・男（剛彰） 駅前
- 18 菊池 己翔・男（翔） 七ツ森
- 21 中村 伊吹・男（文哉） 中島
- 26 平澤 昂・男（剛） 下町四

おくやみ カッコ内は享年と喪主または世帯主

12月

- 30 杉村 忠樹（65・フミ） 長根
- 31 八重樫ミツエ（99・武） 中町一

1月

- 2 三河 竹治（82・靖） 安庭
- 3 石亀 勇（88・悟） 七ツ森
- 6 山崎 英子（66・一男） 小松
- 7 金目 一男（88・一正） 小松
- 8 徳田 スミ（87・勇悦） 元御所
- 14 堂屋 房司（96・博） 黒沢
- 16 櫻田ヨシノ（86・康夫） 駒木野
- 16 谷地 キミ（85・康男） 上町二
- 20 諏訪 忠男（85・直人） 上町三
- 20 藤本 郁子（88・郁夫） 大村
- 20 土樋 哲夫（76・由直） 小松
- 21 松本フジエ（87・政明） 上駒木野
- 23 高橋 チョ（92・一男） 黒沢川
- 23 諏訪 貞三（82・透） 中町一
- 23 細川 長吉（77・栄一） 東町
- 27 黒沢 智浩（49・哲夫） 黒沢
- 28 中島 トシ（90・敏男） 上町二

お・知・



●人のうごき 平成31年1月末現在

男	7,974人 (△13)	出生	4人
女	8,710人 (△13)	死亡	26人
計	16,684人 (△26)	転入	18人
世帯数	6,339世帯 (△5)	転出	22人

※カッコ内は前月末増減

●火事・救急 1月末

火事	1件	(1件)
救急	60件	(60件)

※カッコ内は1月からの累計 (盛岡西消防署栗石分署)

●事故 1月末

件数	1件	(1件)
死者	0人	(0人)
負傷者	1人	(1人)

●犯罪 1月末

件数	3件	(3件)
----	----	------

※カッコ内は1月からの累計 (盛岡西警察署)

休日救急当番医

◆3月

17日	上原小児科医院	692-3907
21日	篠村医院	692-5151
24日	栃内第二病院	684-1111
31日	篠村泌尿器科クリニック	692-1285

※4月以降の当番医表は本紙と同日に全戸配布します。

※この日程は医師の都合により変更になることがあります。

平日休日問わず夜間は、盛岡市夜間急患診療所 (内科・小児科、盛岡市神明町3-29 (盛岡市保健所2階)、☎654-1080、年中無休19時~23時) をご利用ください。

放射線量測定結果 (2月)

最大	0.06	(単位: μ Sv/時)
最小	0.04	※文部科学省・厚生労働省による屋外活動の制限指標: 3.8 μ Sv/時
平均	0.05	

森林の伐採や林野開発には事前手続きが必要です

森林の伐採を行う場合は伐採を開始する90~30日前までに、また、林野開発を行う場合には事前に届け出や許可申請の各種手続きが必要です。

森林の伐採、開発の計画がある場合は下記にご相談ください。

【問い合わせ先】●保安林以外の森林の伐採▷町役場農林課林業担当 (☎692-6495) ●保安林での森林の伐採や土地の形質の変更、保安林以外の森林で1haを超える開発行為▷盛岡広域振興局林務部 (☎629-6612)

「森のチェーンソー講座」山仕事を楽しく学ぼう

NPO法人いわて森林再生研究会は、2019年度森のチェーンソー講座~楽しく学べる山仕事~の受講生を募集しています。初心者も経験者も実践を通じて森づくりの基本を学ぶことができます。ぜひご参加ください。

【期間】4月~平成32年3月(全20回)

【場所】盛岡市手代森の研修林

【内容】●チェーンソーの安全・正確な使い方(薪づくり、丸太の玉切り) ●機材・補助具の使い方(刈り払い機、ウインチ、滑車など) ●森林の基礎知識(森林のはたらき、森林の調べ方)

【参加費】一般▷10,000円(年間参加費・保険料含む)

【定員】30人(先着順)

【問い合わせ・申込先】NPO法人いわて森林再生研究会(盛岡市上田堤1-13-7、☎090-7070-8724)

国家公務員採用試験のお知らせ

人事院は、次のとおり国家公務員採用試験を実施します。

◆総合職試験(院卒者・大卒程度試験) 申込受付期間(インターネット)▷3月29日(金)9時~4月8日(月)受信有効、第1次試験日▷4月28日(日)

◆一般職試験(大卒程度試験) 申込受付期間(インターネット)▷4月5日(金)9時~17日(水)受信有効、第1次試験日▷6月16日(日)

◆一般職試験(高卒者試験) 申込受付期間(インターネット)▷6月17日(月)9時~26日(水)受信有効、第1次試験日▷9月1日(日)

申込方法や受験資格などの詳しい内容については、人事院ホームページまたは下記にお問い合わせください。

【問い合わせ先】人事院東北事務局第二課試験係 (☎022-221-2022)

「網張温泉線」の一部路線が廃止になります

岩手県交通(株)は、網張温泉線(盛岡バスセンター~網張温泉)運行区間の内、下記区間において、利用者の減少と経営の効率化などの理由から、一部を廃止します。皆さまにはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

【一部路線廃止区間】網張温泉線(小岩井農場まきば園~網張温泉間)

【廃止日】4月1日

【問い合わせ先】町役場地域づくり推進課 (☎601-5419)

参加型有機認証制度(PGS)に国内初認定
オーガニック栗石 代表

高橋 勝明さん(67歳・セツ森)

●たかはし・かつあきプロフィール：奥州市胆沢出身。昭和45年に小岩井農牧場に入社し、栗石町に移住。平成19年から有機農業を始め、花豆や大豆などを育てている。食の安全に興味をもち「オーガニック栗石」に参加。趣味はマラソン。県内外で開催されるマラソン大会にエントリーし、マラソン仲間とともに楽しく走っている。
●オーガニック栗石：初代代表の福本敏さんが平成28年に任意団体として設立。現在の会員は22人。水田調査や勉強会などを開催している他、食の安全や食材がもつ本来の味を味わってほしいという思いから、有機農業や6次産業の普及、町内の子どもたちへの食育などを行っている。

誰もが参加できる有機農業で
町おこしをしたい！



▲「有機農業をきっかけに栗石を知り、一緒に活動をしたと思う人が増えたらいいですね」と笑顔で話す高橋勝明さん。
◀町内西根保育所の園児と「有機みそ造り」を行い、笑顔あふれる食育活動を行いました。



「夢クローズアップ」は、活動や特技などで頑張っている町関係者を紹介するコーナーです。

食

の安全と消費者に信頼される有機農業に力を入れるオーガニック栗石代表

の高橋勝明さん。オーガニック栗石は昨年12月、国際有機農業運動連盟(IFOAM)の「参加型有機認証制度(PGS)」に日本国内で初めて認定されました。PGSは、地域に焦点を当てた品質保証システムです。生産者だけでなく、消費者やその他関係する人たちが水田調査を行い、栽培基準の作成やその検証などを関係者が協力して行い、品質を保証します。

「生産者も消費者と同じ目で見ると、そうすると違った分野の消費者、例えば医者や栄養士などその道のプロの目線で栽培やその普及活動についての意見がもたらえて楽しい」と笑顔で語る高橋さん。こういった活動が評価され、PGSの認定につながりました。

オーガニック栗石は食育活動にも力を入れており、1月に町内西根保育所の園児と同保育所で有機栽培した黒千石大豆を使い「有機みそ造り」を行いました。園児特製「有機みそ」は秋頃の完成を見込み、おにぎりにつけて皆で食べる予定とのことです。

「子どもたちに食材本来の味を教えたい。畑に実った野菜を採り、土埃をサツと払ってかじる。そういうこともやらせてあげたい」と有機農業でできる食育や人と人とのつながりを大切にし、PGSの啓発を今後も進めることに意欲を燃やします。

IFOAM…国際有機農業運動連盟 (International Federation of Organic Agriculture Movement)
PGS…参加型有機認証制度 (Participatory Guarantee System)

あとがき

●初開催「しずくいはしご酒」に参加。行きつけのお店から初めて行くお店まで全4店舗制覇しました！「平日の夜にこんなに商店街が賑わっているの久しぶりだよ」と笑うタクシー運転手さんの言葉が印象的でした。(か)

●本紙面右側で富士市をご紹介しているコーナーですが、全60回、丸5年にわたり富士市職員の皆さんから情報提供いただきました。このコーナーは今回で一区切りとなりますが、友好都市の固い絆はこれからも変わりません。町民の皆さんもぜひ、富士市の「いいもの」を探しに訪れてみてください。(大)

栗石町公式ツイッターはこちらから
▷ <https://twitter.com/shizukukouhou>
防災行政無線が聞き取れなかったときは…
電話応答サービス▷ ☎0800-800-6371 (通話無料・固定電話のみ)をご利用ください。

～友好都市静岡県富士市の“いいもの”ご紹介(最終回)～

▶富士山口駅前広場リ
ニューアル工事の様子



東海道新幹線の停車駅であるJR新富士駅は、昭和63年の開駅から、富士市、富士宮市をはじめとする富士山周辺の玄関口として多くの人に利用されてきました。その間、富士山世界文化遺産登録や外国人観光客の増加などを背景に、改

めて「富士山」の玄関口であることをアピールするため、平成29年2月、富士山に面した北口を「富士山口」に改名しました。

また、先月号の広報しずくいしでもお伝えたとおり、昨年11月には構内に商業施設「アスティ新富士」がオープンし、新たな集客施設として期待されています。さらに、今年3月には、バリアフリー化やレイアウト変更のための富士山口駅前広場のリニューアル工事が完了し、公共交通やマイカーを利用する人の利便性が向上します。より便利になる新富士駅から、ぜひ富士市にお越しください。

